

平成28年度学長裁量経費研究推進支援プロジェクト研究成果報告書

1. 研究の概要

|   |  |                       |  |
|---|--|-----------------------|--|
| プロジェクト名   | ヴィンチェンツォ・ベッリーニの声楽作品に関する演奏法と解釈の研究   |                       |  |
| プロジェクト期間  | 平成28年度   |                       |  |
| 申請代表者<br>(所属講座等)  | 橋本エリ子 (音楽教育講座)   | 共同研究者<br>(所属講座等)      |  |
| 取組方法・取組<br>実績の概要  | <p>ロマン主義の作曲家の中で最もベル・カント唱法を実現させた作曲家にベッリーニ (Vincenzo Bellini:1801-1835)がおり、彼の歌曲集は、メロディが極めて美しく、純粹な響きと気品に満ちた情緒がある作品集で、飽きることなく繰り返し学ぶことができる。</p> <p>また、イタリア語の言葉のアクセントと音楽のアクセントが一致しており、理想的なベル・カント唱法を習得するために無理なく活用することができる作品でまとめられている。</p> <p>本研究においては、海外の研究資料の書籍及びベッリーニの書簡集、また現存する自筆譜を詳細に分析し、書簡や証言から得た資料を手掛かりにベッリーニの作風を綿密に分析した。</p> <p>特に、ベッリーニの生涯と彼の性格や人物像を詳細に研究し、ベッリーニの声楽作品表を作成すると共に、当時最も優秀な詩作家であった台本作家フェリーチェ・ロマーニとの関わりを探ることで、ベッリーニの音楽の根源となる音楽とテキストの密接な関係や音楽的特性を分析し、現在出版されている楽譜で批判校訂されている楽譜を含め自筆譜との比較を行い、ベッリーニの声楽作品の演奏法及び解釈の研究を行った。</p>   |                       |  |
| 研究成果の<br>概要   | <p>イタリア・ロマン派オペラを代表するベッリーニは、ベル・カント・オペラの様式を踏まえた作品として、歌劇《ノルマ》、《夢遊病の女》、《清教徒》、《カプレーティ家とモンテッキ家》では、気品に満ちた流麗で、優雅な旋律が特徴の魅力的なオペラを残した作曲家であり、洗練された作品を書いている。</p> <p>本研究では、ベッリーニの声楽作品の中でも、特に歌われる機会の多い「3のアリエッタ」(Tre Ariette)と「6つのアリエッタ」(Sei Ariette)に焦点を絞って、それぞれの作品の韻律法と音楽的特性を分析し、詩の理解を深めた表現法や作曲家による様式感について研究を行った。</p> <p>今回の研究の結果、ベッリーニは、何よりも良い言葉を好み、歌詞に対して真摯であることが分かった。ベッリーニの音楽は、心から生まれるものであり、テキストとは切っても切れない結びつきがある。さらに、ベッリーニの音楽におけるロマンティシズムの源は、音の恍惚感であり、狭い音程に対する好みがあり、半音音程を滑らかに移行することにより、強烈さと甘さをもつ旋律を好んで作曲していることが判明した。また、彼の和声の個性的な面として、特に長調と短調が頻繁に交替することがあること、そして、ベッリーニの声自体の美しさを重視するベル・カント唱法を生かした旋律は、光り輝く崇高な旋律が特徴的であり、カンタービレな旋律線を伴奏が極めて控えめに、和声的に支えている点も個性的であることが解明できた。</p> <p>ベッリーニの作品を歌唱する上で最も重要なことは、ベル・カントの発声法を基盤として、美しい響きによる母音唱法 (レガート唱法) を徹底させ、韻律を理解した上で、言葉にイントネーション(抑揚)をつけ、詩を良く理解した語感で、表情のあるブレスを心がけることが最も重要なことであると言えよう。</p> <p>従って、声に潤いと艶のある美しい声により、音色の変化に富み、表現力豊かな芸術的な歌唱へと繋げるためには、イタリア語の正しく楽な自然的な発声法であるベル・カント唱法を体得し、無理のない自然な発声法を心がけることが何よりも大切であることが分かった。</p> |                       |  |
| 外部資金獲得申請及び研究成果の公表方法等について [ <input type="checkbox"/> (該当事項) にチェック方願います。] |  |                       |  |
| 外部資金獲得<br>申請 (予定)   | <input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金<br><input type="checkbox"/> 受託研究費<br><input type="checkbox"/> その他<br>( )  | 研究成果の公表<br>方法<br>(予定) | <input type="checkbox"/> 学会 ( 国内 ・ 国外 ) :<br><input checked="" type="checkbox"/> 新聞・図書・雑誌論文等 : 紀要に投稿<br><input type="checkbox"/> その他 : |